

№1299753

玉藻公園
入園券

200円
大人

香川県造園事業協同組合



通用当日1回限り

高松城(玉藻公園)のあらまし

“讃州さぬきの高松さまは城が見えます波の上”と歌われている高松城は天正16年(1588年)生駒親正公が築城に着手し、生駒家4代54年間、松平家11代228年間(初代は水戸光圀の兄松平頼重)にわたり居城した城跡の一部で、全国でもまれな水城(海城)として有名です。

園内(総面積約8万平方メートル)には3層5階の天守閣がそびえ、要所には約20の櫓があってその威容を誇っていましたが、現在では艮櫓、月見櫓、渡櫓および水手御門が残り、いずれも重要文化財の指定を受けています。また、庭園には緑したたる老松、名木が立ちならぶなかに石燈籠、手水鉢、大飛石等が配置され、昔の大名の権勢がしのばれます。

松平藩時代の披雲閣は、政庁・住居として使用されていましたが、現在、事務所のある披雲閣は、大正時代に建てられたもので、茶会・会議等で広く一般に利用されています。